

科目分類	専門職の教育			開講学科	医療栄養学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
13051	3	前期	必修	1	45
授業科目名 (英文)	臨床栄養学実習Ⅰ (基礎) (Practice of Clinical Nutrition I)				
担当教員名	小城 明子				
授業の概要及び到達目標					
<p>【ねらい】傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて適切な栄養管理を行うために、疾病コントロール状況および栄養状態の評価・判定、それに対する臨床栄養管理（介入計画の作成、実施、モニタリング、評価）の実際を学習する。</p> <p>【概要】管理栄養士が行う具体的な栄養状態の評価・判定、栄養介入について実習を行う。</p> <p>【到達目標】①栄養スクリーニングツールの利用ができる。②栄養アセスメントおよびその結果に基づいた栄養評価ができる。③栄養評価に基づき、栄養介入計画を立案し、計画書を作成できる。④栄養介入の経過を記録できる。</p>					
準備学習等					
<p>「臨床栄養学Ⅰ」で学んだ知識が必須である。復習を十分に行い臨むこと。また、同セメスター開講の「臨床栄養学Ⅱ」の学修内容との関連付けも必要となる。</p> <p>なお、本科目の単位修得は、「臨地実習Ⅲ」履修条件である。</p>					
成績評価の方法	<p>取り組み評価：取り組み姿勢・提出課題（30点満点）</p> <p>修得度評価：期末試験（70点満点）</p> <p>※取り組み評価、修得度評価の<u>それぞれにおいて60%以上の</u>評点の場合、合格として単位を認定する。</p>				
テキスト	<p>①栄養科学シリーズNEXTシリーズ『新・臨床栄養学』竹谷豊・塚原丘美・桑波田雅士・阪上浩編：講談社サイエンティフィック（ISBN 978-4-06-155384-2）</p> <p>②『看護・栄養指導のための臨床検査ハンドブック 第5版』、奈良信雄著：医歯薬出版社（ISBN978-4-263-70625-1）</p> <p>③『糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版』、日本糖尿病学会編集：文光堂（ISBN978-4-8306-6046-7）</p>				
参考図書					
備考	<p>○「臨床栄養学Ⅰ」で学んだ知識が必須である。</p> <p>○当該授業科目の単位修得は、「臨地実習Ⅲ」履修条件である。</p> <p>○持ち物：電卓（携帯電話不可）</p> <p>○卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図の通り。</p>				

	○オフィスアワーは desknet' s の一覧を確認すること。
授 業 計 画	
<p>各テーマについて、実習を行う。</p> <p>第 1 回 臨床栄養管理のあり方 栄養スクリーニング 栄養アセスメント：身体計測</p> <p>第 2・3 回 栄養アセスメント：食物・栄養関連の履歴、身体計測、栄養に焦点を当てた身体所見、生化学データ</p> <p>第 4 回 栄養アセスメント：摂食嚥下機能評価</p> <p>第 5 回 栄養診断 栄養介入計画：栄養投与目標量の算出</p> <p>第 6 回 栄養介入計画：栄養補給方法および経腸栄養剤の活用</p> <p>第 7 回 栄養介入計画：嚥下調整食の活用 栄養介入計画：問題志向型システム(problem oriented system; POS)に基づいた計画書の作成</p> <p>第 8 回 栄養介入計画：糖尿病食事療法のための食品交換表の活用 栄養介入：モニタリングと評価</p> <p>第 9 回 栄養介入：症例に応じた献立作成および栄養教育のポイント、モニタリングと評価</p> <p>第 10 回 栄養介入：POS に基づいた経過記録、栄養補助食品の活用</p> <p>第 11・12 回 症例に応じた栄養管理計画書の作成</p> <p>※180 分×12 回 ※授業の進行は変更する場合がある。</p>	